



西部電気工業株式会社

●わが社のCSR活動

CSR

西部電気工業グループのCSR活動

西部電気工業株式会社



1. はじめに

当社は1947年の設立以来、脈々と培ってきた技術力を駆使し、情報通信インフラ建設・整備という大きな使命を担い続け、多岐にわたる事業活動を展開してまいりました。

当社グループは「常に未来を先見し、卓越する技術力と不断の挑戦により、豊かな社会づくりに貢献する」ことを企業理念に掲げ、社員1人ひとりが「夢」と「希望」と「誇り」を持って社会およびお客様ニーズに迅速に応えながら、社会の持続的な発展に貢献していくことを目指しています。

2. 経営理念とCSRの考え方

私たちグループは、企業活動（本業）を通じて社会的責任（CSR）を果たして行くことを基本と考えており、その企業活動は、経営理念のもと、経営方針、行動指針（図1）に従って業務を遂行しています。

経営理念では「西部電気工業グループは、常に未来を先見し、卓越する技術力と不断の挑戦により、豊かな社会づくりに貢献します」と定めており、具体的には、経営方針の1つに「企業力（安全・品質、法令順守、社会貢献）の強化」を、また、行動指針の1つに「コンプライアンス憲章に基づき誠実に行動しよう」と定めています。

私たちは、これらの経営理念、経営方針、行動指針に従い、1人ひとりが責任ある行動に努めるとともに誠実で透明性の高い経営を推進し、社会の持続可能な発展に寄与していくこととしています。

企業をとりまくさまざまなステークホルダーの要望と期待に十分に答えられるよう、全従業員一丸となって、CSRの推進に向けて取り組んでいます。

以下に当社グループにおける主なCSR活動についてご紹介いたします。

3. 安全・品質向上に向けた取り組み

当社は「安全なくして、事業の発展はない。社員が健康でいきいきと働くことができ、事故のない職場環

境を作ること。」そして、「お客様の要求する品質規格とサービス水準を常に満たすこと。」を、それぞれ『労働安全衛生方針』（図2）および『品質方針』（図3）として定め、その持続的実現に向け取り組んでいます。

安全の取組みとしては、対話型の安全パトロールによる各現場の指導、フルハーネス導入に向けた特別教育等安全にかかわる研修やOJT、優良班の表彰などさまざまな施策に取り組んでおり、さらに今年度は国際規格であるISO45001「労働安全衛生マネジメントシステム」の認証取得に向けた取組みを行っています

西部電気工業グループ経営理念

経営理念
西部電気工業グループは、常に未来を先見し、卓越する技術力と不断の挑戦により、豊かな社会づくりに貢献します。

経営方針

- 現場直視による現場力強化
- 果敢な挑戦による新たな価値の創造
- 一体一心によるグループ総合力発揮
- グループで働く喜びと誇りの実現
- 企業力（安全・品質、法令順守、社会貢献）の強化

行動指針

- お客様からの「ありがとう」が行動の原動力！
- 生命線は現場にあり、現場最優先で取り組もう！
- 挑戦なくして成長なし、明るく、元気に、まず「やってみよう！」
- 「個人」「組織」「グループ」の力を結集し、一人ひとりが責任を持って取り組もう！
- コンプライアンス憲章に基づき誠実に行動しよう！

図1 「経営理念」

労働安全衛生方針

安全なくして、事業の発展はない。社員が健康でいきいきと働くことができ、事故のない職場環境を作ること。そして、その持続的実現に向け、当社の全従業員は、

- 決められたルール・手順を順守し、基本を忠実に実践する。
- 作業にひそむ危険を事前に把握し、危険要因を排除して作業する。
- 今のやり方、仕組みに改善点はないか常に考え、改善提案を行う。
- 過重労働及びメンタルヘルスによる健康障害を防止し、心身の健康保持増進に努める。
- 全従業員とのコミュニケーション（協議及び参加）を図り、労働安全衛生活動を推進する。

図2 「労働安全衛生方針」

品質方針

お客様の要求する品質規格とサービス水準を常に満たすこと。そしてその持続的実現に向け各組織は

安全、法令順守を第一に効率的な品質保証体制を確立し継続的な改善を行うことによりお客様の高い信頼を得られる品質を提供する。

図3 「品質方針」

(図4)。

交通事故撲滅に向けては、ドライブレコーダ映像をWi-Fiやスマートフォンアプリを利用して自動取得するシステムを開発導入し、映像をもとに、交通ルール等の遵守状況を確認し、継続的な安全運転指導や交通安全表彰にも役立てています(図5・6)。

今後は、運転状況をドライブレコーダで分析し、速度超過や急加速、急ブレーキ、急ハンドル等の危険運転情報を取得する仕組みを検討し、運転者への注意喚起等、さらなる安全運転指導に取り組みます。

品質向上の取組みとしては、西部電気工業グループ全体の設計スキルアップに向けた設計検討会および施工引渡し前の設計審査の充実、ユーザ全数写真検査に対する抜き取りに

2019年度	労働安全衛生マネジメントマニュアル制定
2020年度	・関連規定類の整備 ・社員研修の実施
1 Q	・内部監査
2 Q	・外部審査機関による審査
3 Q	・認証取得
4 Q	

図4 ISO45001認証取得に向けたスケジュール



図5 ドライブレコーダ映像自動取得システム

交通ルール等の遵守状況確認	
制限速度	
一旦停止箇所での二度停止	
高速道路走行での4秒ルール	
標識・表示・信号の遵守	

図6 ドライブレコーダ映像で遵守状況確認

よる社内検査員の現場確認実施、工事検査の事前書類チェックによる品質の確保を図っています。

4. コンプライアンス推進に向けた取組み

西部電気工業グループが社会の一員として信頼され、発展していくには、組織と個人が高い倫理観とコンプライアンス意識を持って行動する仕組みが必要です。その仕組みとして重要な企業倫理に関する行動指針と推進体制について紹介します。

(1) コンプライアンス憲章

「企業倫理観」の指針を明確にし、従業員1人ひとりの「行動の拠り所」となる規準として「西部電気工業グループコンプライアンス憲章」(2007年9月制定)を定めています(図7)。

(2) コンプライアンス推進体制

CSRを継続的に推進するためにコンプライアンス委員会を設置するとともに、CSR推進部(コンプライアンス推進室)を事務局とし、コンプライアンスにかかわる施策の展開に取り組んでいます(図8)。

また、グループの社員等から直接、通報・相談ができる通報窓口

コンプライアンス憲章	
1. 法令等の順守	私たちは、法令や社内ルールを順守し、社会的良識をもって誠実かつ公正な企業活動を行います。
2. 公正な取引	私たちは、公正、透明、自由な競争ならびに適正な取引を行います。
3. 安全で高品質な設備・サービスの提供	私たちは、優れた技術力と豊かな経験をもとに、安全で高品質な設備・システム・サービスをお客様、取引先に提供します。
4. 情報の保護・知的所有権の尊重	私たちは、個人情報・お客様情報を適切に管理・保護するとともに、知的所有権を尊重します。
5. 情報の開示	私たちは、お客様、取引先、株主、投資家等のステークホルダーに対し、適時・適切に企業情報を開示します。
6. 地球環境への配慮	私たちは、資源の有効活用、クリーンエネルギーの取り組みなど、積極的に地球環境の保護に努めます。
7. 反社会的勢力の排除	私たちは、社会の秩序や企業の健全な活動に脅威を与える反社会的勢力に対し、毅然とした態度で臨みます。
8. 政治・行政との関係	私たちは、政治・行政との間において、健全かつ正常な関係を保持します。
9. 人権の尊重	私たちは、一人ひとりの価値観・人格・個性を尊重し、人権啓発に努めます。
10. 職場環境への配慮	私たちは、安全で健康な活力のある職場環境をつくらします。

図7 コンプライアンス憲章

「SD (Seibu・Denki) ライン」を2004年10月に設置し、2015年3月には、これまでの社内通報窓口に加えて社外通報窓口を設置し、より通報しやすい環境を整備しました。なお、通報者に不利益を生じないように、「内部通報規程」の中で通報者の保護に関する条項を定めています。「自浄作用の向上・不正リスクの早期発見」に向け、機会を捉えた通報件数の向上にも取り組んでいます。

(3) コンプライアンス意識向上の取組み

① CSR・コンプライアンス研修

西部電気工業グループでは、全組織のコンプライアンス推進員や一般社員等を対象にした「CSR研修会」を毎年実施しています。研修を受講した各コンプライアンス推進員は、各職場で職場研修会を実施するなどして水平展開を図っています。

また、役員、組織長、グループ会社社長などを対象とした「経営幹部層向けCSR研修」についても実施しています。

② コンプライアンス強化月間

毎年9月を「コンプライアンス強化月間」と位置づけ、全社共通で取り組むテーマ並びに各部門ごとに取り組むテーマを設定し、グループ会社、協力会社を含めた施策を展開し、コンプライアンスおよびリスク管理に対する意識向上を図っています。

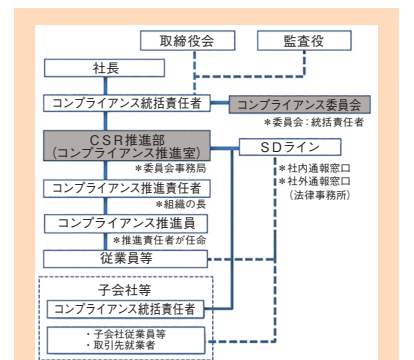


図8 コンプライアンス推進体制

5. 働きやすい職場環境を目指す取組み

社員が健康に、また能力を十分に発揮できるようにワークライフバランスの推進を目的に、働きやすい職場環境を目指し、各種取組みの実施と制度の整備・拡充を進めています。

(1) 健康経営の推進

2020年3月2日に「健康経営優良法人2020（大規模法人部門）」の認定を取得しました（図9）。

当社では、経営理念、経営方針、行動指針を実現するために、社員一人ひとりの安全と健康は基本であるとの認識のもと、すべての社員がいきいきと働くことができる職場づくりを行うとともに、当社と健康保険組合が協働・連携し、社員とその家族の心と身体の健康保持・増進に向けた取組みを推進しています。

主な取組みは、①食生活改善やカロリーを意識した日常生活の改善を促すアプリの紹介や会社内の自動販売機へのカロリー表示、②運動の促進として、アプリを活用したウォークラリーへの参加や社会貢献活動をはじめとした各種イベントへの参加、③健康増進に向けた各種講演会の実施、④健康診断100%受診、ストレスチェックや受動喫煙防止に向けた建物内全面禁煙・卒煙マラソンの実施などの法令に定められた取組みを

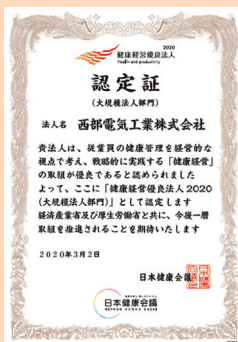


図9 「健康経営優良法人2020」

健康保険組合と連携して健康増進施策に取り組んでいます。

(2) 働き方改革の推進

長時間労働の是正や多様で柔軟な働き方の実現等を図るため、①入退館・PCログを勤務表に反映させた勤務管理の徹底、②時間外労働時間の一定時間等の超過者に対する上長・産業医面談の徹底や勤務間のインターバル時間の設定による健康管理、③年次有給休暇取得奨励日の設定等による取得促進などに取り組むとともに、「個の仕事」から「チームの仕事」への見直しや在宅勤務をはじめとしたテレワーク・RPA（ロボティック・プロセス自動化）などツールの活用による仕事の進め方の改革などの推進拡大に積極的に取り組んでいます。

(3) 女性活躍推進への取組み

① 「えるぼし」(最上位)の取得

仕事と子育ての両立支援のため、育児休業制度、介護も含めた在宅勤務制度、育児・介護のための勤務時間短縮、家族の看護のための休暇等制度の充実を図っています。

これらの取組みを通じて、「女性活躍推進法に基づく行動計画（～2021年3月31日）」を提出し、2017年7月4日に「えるぼし」企業の認定（最上位）を受けました（図10）。

②女性活躍の「見える化」推進

「えるぼし」取得を機に福岡市の「ふくおか女性活躍NEXT企業見える化サイト」に登録し情報を公開しています。また、2015年から毎年2名程度「女性リーダー養成研修」に参加し、異業種間の女性社員交流によるモチベーション向上等の相乗

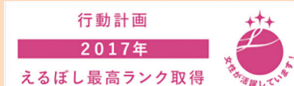


図10 「えるぼし」企業認定

効果を含め、女性社員のスキルアップを図っています。

③女性社員意見交換会の実施

小学校6年生未満の子どもを持つ女性社員と、育児休業取得中の女性社員を対象に、休業取得中の不安や子育ての悩み等についてアドバイスを共有する場を設けています。今後は、育児に対する理解を深めるため、男性社員の参画も予定しています。

(4) 障がい者雇用に向けた取組み

ハローワーク等で開催する障がい者向け面談会に参加するなど、自治体との連携を図りながら、求職者のスキルと受入部署のニーズとのマッチングを行い、法定雇用率の維持と、雇用者への継続的なフォローを実施しています。

(5) 教育・研修制度

人材育成については、「『安全と品質の西部電気工業』を確固たるものとし、技術力の向上と継承、新技術の習得、必要資格保有者の育成・確保等により、安全・生産性の向上に資する人材の育成を推進する」、『自ら考え、一人称で行動できる自立型人材』の育成を目指し、「自ら学ぶ風土」の醸成を図る』との基本方針のもと、①OJTを基本とするプロフェッショナル人材の育成強化、②OFF-JTで習得したスキル・ノウハウ等の実践による向上に重点をおいて人材育成に取り組んでいます。

(6) 新たな採用制度「リファラル採用」の取組み

昨今の採用市場をめぐる厳しい競争環境を踏まえ、中途採用については、当社にマッチする人材像、必要スキルを持った優秀人材の確保の観



(参考) 福岡市HPより出典

点から、広く社員に呼び掛け、知人・友人等の優秀な人材を紹介してもらう施策に取り組んでいます。

6. 環境保全活動への取組み

私たちグループは、“良き企業市民”として「積極的に企業の社会的責任を果たしていく」との観点から、さまざまな社会貢献分野において、継続した活動に取り組んでいます。

(1) 地域協働による環境保全活動

本社所在の福岡エリアおよび旧本社所在の熊本エリアを、全社的に取り組む社会貢献活動の拠点と位置づけて、グループ・OBが一体となり、地域が抱える課題解決の取組みに参画し、地域密着の活動を実施しています。

①熊本エリアにおける「企業の森づくり活動」

2010年より熊本県菊池市と『企業・法人との協働の森づくり「西部の森きくち」協定』に基づき、植樹、下草刈り等森林整備を毎年、春と秋に実施しています。昨年10月には、活動を開始し10年目の節目を迎え、これまでの森づくり活動の功績が認められ、熊本県から表彰状(写真1)、菊池市からは感謝状を授与されました。

※10年間の活動実績として、通算

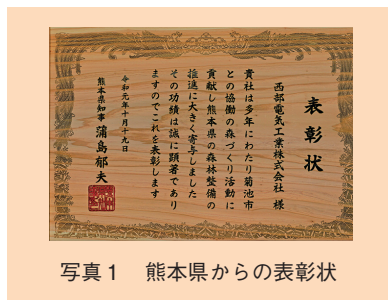


写真1 熊本県からの表彰状



(参考) 第10回植樹祭

で約4,100名が参加。さくら・ひのきなど約40ha、約16,000本の植樹を実施しました。

②福岡エリアにおけるアダプト事業

「松林再生・保全活動」

「福岡県糸島市松林保全アダプト事業」(*1)に参画し、松林の清掃・美化活動を行うことにより“白砂青松の松原”を再生する活動を、2015年度より開始し、毎年、春と秋に活動を実施しています。昨年11月の第10回活動では、約400名が参加し松葉掻き、枝拾いなどを行いました(写真2)。

今後とも両活動を通して地域社会とのコミュニケーションを大切にし、活動を継続していきたいと考えています。

(*1) 市・国有林等を区割りにし市民・企業がその区画を受け持って清掃・美化活動を行う仕組み。

(2) 環境マネジメントシステム

当社は、「人と自然の共生」を目指し、2003年2月にISO14001(環境マネジメントシステム)を取得し、環境方針(図11)を定めて、さらに高いレベルを目指しながら継続的な環境改善に取り組んでいます。

・PDCAサイクルによる全社的環境保全活動

当社においては、ISO14001環境



写真2 第10回松林再生・保全活動

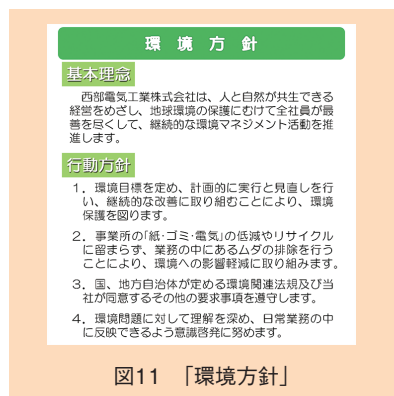


図11 「環境方針」

マネジメントシステムに基づきPDCAサイクルによる業務管理に継続的に取り組み、企業活動中の環境負荷低減に努めています。

各部門においては、業務中の環境リスクを特定し、具体的な年度目標を策定するほか、SDGs(持続可能な開発目標)を踏まえた目標を加味するなど、環境経営へ全社員が参画し、意識を高める取組みを展開しています。

7. 新たなビジネスモデルへの挑戦

ICT分野のビジネスにおいて、AI(Artificial Intelligence)および一部AIに付随してドローンが関わる要素が急速に拡大しており、ドローン技術に対応できる体制を確立し、新たなビジネスモデルの具現化に挑戦しています。



(参考) 「AI分析映像」

8. 最後に

私たち企業を取り巻く環境の変化は著しく、四囲の情勢に柔軟に対応するには企業力の強化が必要であり、そのためには社員1人ひとりの成長「個の力」が重要です。

～「挑戦なくして成長なし」～

当社は、法令、社会規範を遵守し全従業員が高い倫理観を持ってコンプライアンスの推進に取り組んでまいります。グループ一丸となってこれまで以上に「個の力」を結集し、ICTを核とした社会インフラの充実・高度化に貢献し、企業の社会的責任を今後とも果たしていきたいと考えています。